

## 水 土 里 レ ポ ー ト

投稿月日	令和6年10月31日
タイトル	蛍の幼虫放流会
水土里レポーター名	水土里ネット吉井川下流 前田明彦

令和6年10月10日に、毎年恒例の岡山市立御休小学校5年生による「蛍の幼虫放流会」を行いました。放流前に、蛍の幼虫の説明を中国四国農政局農村環境課の職員よりわかりやすく説明して頂き、実際の幼虫を観察したのち、水路清掃をして幼虫の放流を行いました。また、放流後は学校に戻り、水質検査の勉強を行いました。



農村環境課職員の説明



幼虫観察



水路清掃



放流風景

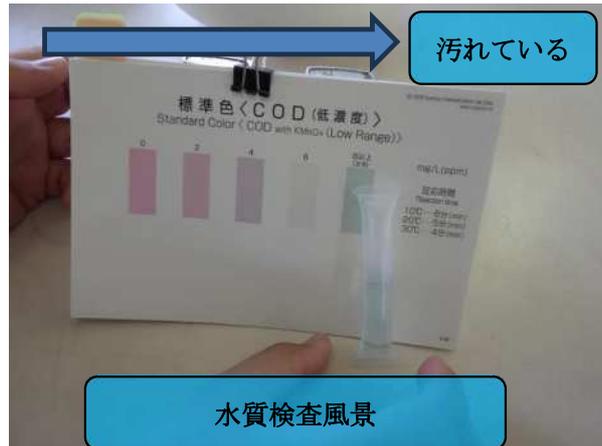
放流後、学校の理科室では、改良区の仕事や水について説明をして、ゴミにより水質が悪くなることやゴミを捨てると何処かで誰かが拾っていて、改良区職員もその一員だと伝えました。

### 改良区職員による仕事説明

- 日々の仕事
- 大雨等の対応
- 用水路の様々な機能



仕事説明



水質検査については、先生にホタルの放流した場所の水の検査をしてもらい、児童たちには水道水にいろんなものを混ぜて、検査をしてもらいました。その後、教室や学校内にあるものについて検査を行い、水質が一番悪かったのが学校で飼っているメダカの水槽だとわかり驚いていましたが、後で掃除をしてあげてくださいと伝えました。

最後に、吉井川農業水利事業所(農林水産省)の職員から、ジュニア農林水産白書2024を使ったクイズ形式で、食糧自給率のお話しをして頂き終了しました。



これとは別に、10月11日に出前授業を7月2日に実施した岡山市立雄神小学校5年生の児童による聞き取り取材が電話であり、水路等の聞き取り後、今後の勉強に繋げていきますとうれしい声を頂きました。